

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2016年度 学校だより 第8号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。
ローマの信徒への手紙 14章18節

自分らしく

校長 橋 明子

10月8日(土)には、平和学園小学校の大同窓会が横浜ベイシェラトンホテルで行われました。また、逗子マリーナでは海のイベントが雨天の中でしたが行われました。同日に二つの会に参加して、様々なことに気づかされて帰ってきました。

大同窓会では、平和学園で過ごした一人ひとりの胸の中に、温かく懐かしい思い出が大きくあることを知りとてもうれしい気持ちになりました。やはり始まりは、礼拝から。集まった卒業生とともに讃美歌を歌い、お祈りをする時が与えられました。いつでもどのような時にも私たちをつないでくださるのはイエスさまだと思います。退職なさった先生方も駆けつけてくださり、昔話に花が咲いていたようです。その様子を見ていると皆さん「平和を作り出す人々は幸いである」という学園聖句に背中を押され、一人ひとりが平和を作ることを実践しながら生きてきたのだらうと思えてなりません。それは、私自身が小学校の校長に迎えられてから何人もの卒業生から大きなエールをいただき、支えられたことを通してそれを実感しているからです。在学している子どもたちも、一人ひとりが自分の人生を歩みいつか昔の友と再会する時がきっとあるでしょう。歴代の卒業生のように、ずっと見つめ続けてくれる神さまの存在を心にとめ、力強く成長し、そして同じように平和を作り出す人として世の中で活躍してほしいと願っています。

一方、海のイベントはというと……。参加希望の子どもたちが「ポンポン船」づくりや海の環境を考え船のお話を聞き、自然と人間がどのように付き合っていくか改めて考えるきっかけをいただきました。自

然は神さまがつくられたかけがえのないもの。何一つ無駄なものはなく、どれも大切であることには言うまでもありません。この神様からいただいた環境を保っていけるのかどうかを考える大切な時を迎えています。子どもたちの将来を考えると環境、公害、自然との共存など大きな課題にもしっかりと向き合っていく必要があると感じました。

二学期が始まると子どもたちの生活はとても忙しくなりました。日々の学校の授業の他に盛りだくさんの行事。一つの行事と真剣に向き合い達成感を味わいながら次に向かっていく子どもたちは、きらきら輝きながら過ごしているように感じます。そして今は、学芸会の準備が最終段階で行われています。予行練習では、緊張、不安などが見え隠れして思わずがんばれと声援を送っていました。これまでの各学年練習を積み重ねた中で学芸会の完成へ向けての自分の取り組む姿勢、友だちの取り組む姿勢から様々なことを感じ、考え、話し合う機会が与えられていました。担任から投げかけられたこと、友だちから指摘されたことを通して自分を見つめ、互の良さを感じ目の前の壁を乗り越えてきました。その時に感じたこと、思いが子どもの内側に蓄積されて成長につながっていくのだと改めて感じました。

聖書のたとえ話の「迷子の羊」のように、イエスさまがどのような時にもひとりを忘れずに、支え、励まし、探し求めてくださることを信じて、二学期の後半も子どもたちとともに過ごしてまいります。